



2023年2月6日

各 位

会社名 ヤマシンプィルタ株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 山崎 敦彦
(コード番号: 6240 東証プライム市場)
問合せ先 取締役専務執行役員 井岡 周久
(TEL. 045-680-1671)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月6日開催の取締役会において、2022年11月4日に開示した2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	19,230	1,380	1,240	855	11.95 円
今回修正予想 (B)	18,650	1,325	1,030	712	9.96 円
増 減 額 (B - A)	△580	△55	△210	△143	—
増 減 率 (%)	△3.0%	△4.0%	△16.9%	△16.7%	—
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	18,821	1,344	1,317	47	0.66 円

(注) 2023年3月期為替レート 米ドル 130 円 (前回見通し公表時 145 円)
ユーロ 140 円 (前回見通し公表時 144 円)

2. 業績予想の修正理由

① 建機用フィルタ事業

前回通期の業績見通しを公表した2022年11月4日時点と比較し、第3四半期においては、主要得意先の生産活動や建機の稼働時間は堅調に推移し、中国を除く日本、米国、欧州、アジアといった主要市場における、当社の売上高は堅調に推移しました。しかしながら、中国市場における当社の主要得意先の生産計画の一部見直しを背景に、第4四半期の需要は減少傾向にあり、当社の売上高は前回公表値を下回る見通しです。

一方、利益面では、当社の業績に大きな影響を及ぼしております鋼材及びアルミ材を中心とした主要原材料価格については足許では調整局面を見せておりますが、依然として高止まりが継続しております。

当社はこのような環境変化に対応するため、原価低減活動の継続に加え、価格転嫁を実行しており、利益面では着実に改善が見込まれるものの、第4四半期に想定される売上高の減少や、第3四半期に生じた急激な円高に伴う為替差損の影響等により、前回公表値を下回る見通しであることから、通期業績予想の修正を行います。

② エアフィルタ事業

主要製品である、ビル空調用フィルタの交換需要は回復傾向にあり、価格転嫁の実施や、生産効率の向上、経費削減効果により、増益が見込まれるものの、通期では前回公表値をわずかに下回る見通しであることから通期業績予想の修正を行います。

なお、2023年3月期の想定為替レートにつきましては、米ドル130円、ユーロ140円に変更いたします。今後、市場環境の変化が業績等に影響を与える場合には速やかに開示いたします。

【ご参考】事業セグメント別の見通し（2022年4月1日～2023年3月31日）

（単位：百万円）

セグメント		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	
売上高	内訳	合計	19,230	18,650	△580
		建機用フィルタ事業	16,530	16,000	△530
		エアフィルタ事業	2,700	2,650	△50
営業利益	内訳	合計	1,380	1,325	△55
		建機用フィルタ事業	1,300	1,260	△40
		エアフィルタ事業	80	65	△15

以 上